

せいしょ ぼうけん ものがたり 聖書の冒険物語

だいごう
第17号
ねんがつにち
2022年5月27日

おうもの いぎょう 王となる者の偉業

こども きじょうだい しょう
子供のためのサムエル記上第29-30章

ダビデがサウル王に命をねらわれ
て亡命していたころ、ダビデとその
従者達は、イスラエルの敵であるペ
リシテ人の王アキシの国に住むこと
を余儀なくされた。アキシ王は、サウ
ル王がダビデに敵対していることを
知っていたので、ダビデに小さな町
チクラグを与えた。住むための場所
を与えてくれたお返しに、ダビデは
アキシ王に忠誠を誓った。遂に、ダ
ビデと従者達は、あちこちを放浪し
た末、仮の住まいを見つけたのだ
た。

そのころ、ペリシテ人とイスラエ
ルの間に新たな戦が始まった。アキ
シ王は、ダビデの部隊も含めて、戦
える者を全て結集してイスラエルと

の戦いに参戦することを期待されて
いた。このことは、ダビデとその従
者達に困難な立場を強いることにな
った。ダビデは、自分自身の同胞や
親族達と戦うことなどできるのだろ
うか？

さて、いよいよイスラエルに攻撃
をしかけようと全軍が結集した。ペ
リシテ軍の指揮官達が何百人も何千
人も兵士達を率いて進軍し、ダビデ
とその従者達も、アキシ王と共にし
んがりを務めていた。すると・・・

「このヘブル人の兵士達は、我々の
間で一体何をしているのだ？」ペリ
シテ軍の中にイスラエル人600人が
いることに気付いたペリシテの君主

達の1人が、アキシ王を問い詰めた。

「ダビデとその従者達はずっと私に
忠実で、何の落ち度もない。」と、
アキシ王は答えた。

すると、他の指揮官が言った。「や
つを我々と一緒に戦わせてはならな
い。戦いの真っ最中に寝返るかもし
れないではないか。それ以上に、サ
ウル王の好意を取り戻す良い方法は
ないのだから。ダビデとは、女達が
『サウル王は千を打ち倒し、ダビデは

万を打ち倒した！』と歌った、あの
ダビデじゃないのか？」

それで、遂にアキシ王は折れた。

アキシ王はダビデをわきに呼んで
言った。「あなたが神の使いのよう
に真っすぐな人間であることは分か
っている。だから、私と共に戦って
くれるのはうれしいが、ペリシテ軍
の君主達は、あなた方が一緒に戦うの
を嫌がっているのだ。だから、家に
帰って欲しい。」

ダビデ王に関するこの前の物語「巨人の挑戦」と
「敵に打ち勝つ」も、読んでね。

ということで、ダビデとその従者達は、同胞達と戦わないで済んだことを内心感謝しながら、静かに撤退した。ところが、チクラグに戻ってみると、恐ろしいことに、町が完全に焼き払われていたのだ！ 男達の留守中にアマレク人達が来て町を荒らし回り、ダビデとその従者達の所有物をことごとく奪い、女子供も連れ去ったのだった。

「そもそも我々は、ここを出るべきではなかったのだ。アキシ王に忠誠を誓う価値などないじゃないか。」と、ある者がつぶやいた。

「我々がここにいたら、こんなことにはならなかったのに。」と、他の1人も言った。

「これは、ダビデの責任だ。」最も腹を立てていた男達が言った。ダビデを石打ちにしようと言う者さえいた。

自分自身の2人の妻が連れ去られた悲しみとも闘いながら、男達の

苦悩と反乱の声を聞いて、ダビデは神に導きを願い求めた。

「この襲撃隊を追跡するべきでしょうか？」

神の答えはこうだった。「追跡せよ。あなたがたは必ず追いつき、全てを取り返すことができるだろう。」

ダビデは部下達を奮い立たせ、アマレク人を追った。あまりにも激しい勢いで追ったため、ベソル川に着いた時には200人が疲れ果てて、それ以上進めなくなった。そこで彼らは荷物と共にとどまり、残りの400人は彼らを後に残して、先へ急いだ。

すると途中に、エジプト人の若者が野原で倒れていた。病んだ上に空腹で飢えていたのだ。ダビデの部下達がいちじくと干しぶどうを食べさせると、若者はすぐに元気を取り戻し、話ができるようになった。若者は、あるアマレク人の召使で、アマレク人達がチクラグを略奪した後、病氣

になったため、主人に置きざりにされたということだった。

若者を殺さず、主人に引き渡さないと約束と引き換えに、若者はダビデに、アマレク人達が行った先を案内した。ダビデの400人の部隊はすぐに追跡を続けた。

その日の夕方、彼らが敵に追いつくと、アマレク人達はそこら中へ広がって、ペリシテ人やユダの地から奪い取った数多くの戦利品を祝いながら、食べたり飲んだり踊ったりして、お祭り騒ぎだった。酔っ払った兵士達の真ん中には、足かせをはめられ、しばり付けられた、ダビデとその従者達の妻子達がいた。

ダビデが攻撃命令を下すと、400人の兵士達は自分達の妻子らを救い出すために突撃した。一隊は未明から夕方になるまで戦い続け、大いな

る勝利を勝ち取った。そして、家畜を含め、奪われたもの全てを取り返した。妻達は夫達と、子供達は父親達と再会した。ダビデとその従者達は、アマレク人達の物も奪った。

ところが、みんなが大喜びしている中、ある論争が起こった。ダビデと共に戦った者達の中で、利己的だよこしまな者達が、荷物のかたわらにとどまった者達には、アマレク人達から奪った戦利品の分け前をもらう権利はないと言ったからだ。ダビデはそれに反対して言った。

「神が与えて下さった物を、そのようにすることはできない。神が私達を守り、敵に勝利させて下さったおかげで、これらの戦利品が手に入ったのだ。だから、荷物のかたわらにとどまった者達も、戦いに出て行った者達も、戦利品を平等に分け合うべきではないか。」

このすごい聖書の登場人物について、もっと読んでみよう。
「聖書の偉人：ダビデ王」を見てね。